

# IT を活用した教育研究シンポジウム 講演論文集原稿執筆要項

神奈川太郎<sup>1</sup>・神奈川次郎<sup>2</sup>・神奈川三郎<sup>3</sup>

<sup>1</sup> × × × 学科 (taro@xxxx.ac.jp)

<sup>2</sup> ○○○ 学科 (jiro@xxxxxx.ac.jp)

<sup>3</sup> 大学院 × × 研究科 △△ 専攻 (saburo@xxxx.ac.jp)

## Example paper for the IT Symposium

Taro KANAGAWA<sup>1)</sup>, Jiro KANAGAWA<sup>2)</sup>, Saburo KANAGAWA<sup>3)</sup>

### Abstract

The present file has been made as a print sample of the camera-ready manuscripts for the paper of the IT Symposium. Its text describes instructions to prepare the manuscripts; layout; the font styles and sizes; and others. If you replace the text or the figures of the present file by your own ones, using CUT & PASTE procedures, you can easily make your own manuscripts.

This English ABSTRACT has narrower width than the main text by 10mm from the left and the right margins of the main text, respectively. Font size used here is 10pt. the length may be less than 150 words.

Key Words: Computer, Example, Sentence, Words

7mm

## 1. 執筆の手引き（ゴシック・ボールド体）

タイトルページは2つの部分で構成されます。

(a) タイトル部分（題目、著者、所属、欧文タイトル、欧文著者名、アブストラクト、キーワード）：横一段組

(b) 本文部分：横二段組

(1) タイトル部分のレイアウトとフォント

タイトル部分の左右のマージンは、本文の左右のマージンよりもそれぞれ 10mm ずつ大きくとって下さい。すなわち A4 用紙の幅に対して左右それぞれ 30mm ずつのマージンをとります。

タイトルは A4 用紙の上辺に約 20mm のマージンを取り、センタリングします。以下次の順にタイトル部分の構成要素を書いて下さい。

（約 15mm のスペース）

タイトル：明朝体 16pt フォント

（約 10mm のスペース）

著者名：明朝体 12pt フォント

（約 5mm のスペース）

著者所属：明朝体 10pt フォント

（約 10mm のスペース）

欧文タイトル：Times New Roman 体 12pt フォント

（約 5mm のスペース）

欧文著者名：タイムス体 10pt フォント

（約 10mm のスペース）

アブストラクト：英文、Times New Roman 体 10pt フォント 150 語以内  
(1 行のスペース)

キーワード：英文、Times New Roman 体 10pt フォント、5 語以内  
(1 行のスペース)

著者と所属とは肩付き数字で対応づけ、上記のように並べて下さい。' Abstract '、' Key Words ' という文字は Times New Roman 体にします。

(2) 本文部分のレイアウトとフォント

本文とキーワードの間に適当なスペースを空け、所定の箇所より書き始めて下さい。

本文は二段組で、左右のマージンは 20mm ずつ、段と段との間のスペースは 8~10mm とします。下辺マージンは 20mm です。

本文には明朝体 9pt (英文 10pt) フォントを用いて下さい。

## 2. 一般ページ

第 2 ページ以降の通常のページは上辺のマージンを

20mm

20 mm とします。それ以外はタイトルページの本文部分と同じレイアウトとフォントで本文を作成して下さい。

### 3. 見出し（見出しが 1 行以上に長くなるときはこの例のようにインデントして折り返す）

#### 3. 1 見出しのレベル

見出しのレベルは 2 段階までとします。第 1 レベルの見出し（章）はゴシック体とし、2. などの数字に続けて書きます。また見出しの上下にスペースを空けます。このファイルのサンプルから分かるように、上を 1 行以上、下を 1 行程度空けて下さい。

#### 3. 2 第 2 レベルの見出し

第 2 レベルの見出し（節）もゴシック体で、3. 2 のようにします。見出しの上だけに 1 行程度のスペースを空けて下さい。

### 4. 数式および数学記号

数式や数学記号は次の式 (1.1), (1.2) のように書きます。

$$\int_{-2}^3 \frac{1}{x} dx \quad (1.1)$$

$$\int_{-2}^3 \frac{1}{x} = [\log |x|]_{-2}^3 = \log 3 - \log 2 = \log \frac{3}{2} \quad (1.2)$$

書式は、各所属学会の推奨する書式に従って書いて下さい。

数式の後の式番号は括弧書きで右詰にします。

### 5. 図、表および写真

#### 5. 1 図、表および写真の位置

図、表および写真はそれらを最初に引用する文章と同じページに置くことを原則とします。原稿末尾にまとめたりしないで下さい。図、表および写真の横幅は、「二段ぶち抜き」あるいはこのサンプルの表 1 や図 1 のように「一段の幅いっぱい」のいずれかとします。図、表および写真の幅を一段幅以下にして図、表および写真の横に本文テキストを配置することは避けて下さい。図、表および写真と文章本体との間には 1 行程度の空白を空けて区別を明確にします。

表 1 表のキャプションは表の上に置く。このように長いときはインデントして折り返す。

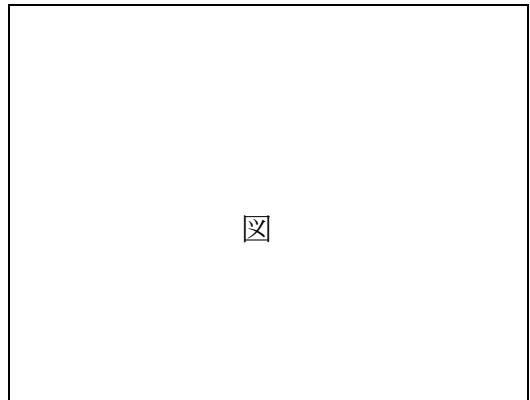



図 1 図のキャプションは図の下に置く。

#### 5. 2 図、表中の文字およびキャプション

図、表中の文字や数式の大きさが小さくなり過ぎないように注意して下さい。特にキャプションの大きさ 9pt (英文 10pt) より小さくならないようにして下さい。

長いキャプションは表 1 のようにインデントして折り返す。英文キャプションの場合は、見出しを Table 1 や Fig. 2 として下さい。

### 6. 参考文献の引用とリスト

参考文献は出現順に番号を振り、その引用箇所で上付き右括弧付き数字で指示します。参考文献はその全てを原稿の末尾にまとめてリストとして示し、脚注にはしないで下さい。

#### 参考文献（記入例）

- (1) Tompson, S. P. and Bondo, J. N. , *Thoery of Computing*, 3rd edn., McGraw-Hill, Auckland, 1999.
- (2) 神奈川太郎, 厚木次郎, e-learning システムにおける学習効果解析法, 日本教育工学学会論文集, 11, Paper No.20010077, pp.123-130, 2001.
- (3) Lee, B. , Software Architecture for e-learning system, *Infomation Technolgy Conference*, ACCM, pp. 11-16 , 2002.